

総領事館便り11月号

★第2回東ジャワ地区日本語プレゼンテーション大会の開催

10月14日、在スラバヤ日本国総領事館及び国際交流基金主催、東ジャワ・ジャパン・クラブ（EJJC）、スラバヤ・ナフダトゥール・ウラマー大学（UNUSA）、東ジャワ元日本留学生協会（PERSADA）の協力を得て、「第2回日本語プレゼンテーション大会」を開催しました。東ジャワ州で日本語を学ぶ大学生ら14名が「私たちとテクノロジー」をテーマに日本語でプレゼンテーションを行いました。東ジャワ州は、インドネシア国内で西ジャワ州に次いで日本語学習者数が多く、今回の大会でもレベルの高いプレゼンテーションが披露されました。東ジャワ地区の優勝者と準優勝者は、日本語プレゼンテーション・インドネシア全国大会に出場予定です。

（結果）

優勝者：ヴィンセンティア・オクトレシアン・アディヤミルタさん

（スラバヤ国立大学日本語教育学科在籍）

準優勝者：ムハンマド・サトリア・ラマダンさん

（ブラウイジャヤ大学日本語教育学科在籍）



★令和5年度前期草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式の開催

10月17日、在スラバヤ日本国総領事館において、令和5年度前期草の根・人間の安全保障無償資金協力案件として「東ジャワ州ブリタル県におけるイスラム中学校校舎建設計画」及び「東ジャワ州ンガンジュク県におけるイスラム小学校校舎建設計画」の贈与契約署名式を開催しました。

草の根・人間の安全保障無償資金協力は、人間の安全保障の理念を踏まえ、開発途上国における経済社会開発を目的とし、地域住民に直接裨益する、比較的小規模な事業のために必要な資金を供与するものです。

今回支援に至った2校の学校では、児童数の増加に対して教室などの整備が追いついておらず、児童は隣接する礼拝所や半オープンスペースで授業を受けるなど、適切な環境で教育を受けることができていない状況にありました。児童に安全かつ適切な学習環境を提供し、地域の教育の質を向上させることを目的として、新校舎の建設や必要な教室備品の整備のための無償資金協力を行うことになりました。

署名式では、竹山総領事より、今後整備される校舎や教室備品は日本国民からの贈り物であり、有効活用するとともに維持管理を適切に行ってほしい旨述べました。各被供与団体からは、今回の支援に関して日本への深い感謝の意が述べられました。

各プロジェクトは今後本格的に始動し、学校整備の完了は来年度を予定しています。在スラバヤ総領事館は、各学校と緊密に連携し、プロジェクトの適切な実施に努めていきます。



★「海外での滞在や生活等に関する基礎調査」のためのアンケート調査（別紙）

（了）